2021 年度　　授業概要

科目名	作業療法評価学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8　回	時間数	15　時間　1　単位	必修・選択	必修	配当学年時期	1年　前期

【授業の目的・ねらい】
評価の意義を理解し、その方法の一部を習得する。

【実務者経験】
急性期などの臨床現場を１２年間経験し、その後教職の立場に変わるが、一週間に1度関連の急性期病院や介護老人保健施設に赴き、新人や後輩などの育成に尽力を注ぐ。

【授業全体の内容の概要】
作業療法評価の講義と、各評価項目を講義と実技で行う。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
①評価の意義を説明できる　②評価に必要な知識、技術を習得する　③正しい検査測定方法を習得する

回数	講義内容	準備物(教材)
1	オリエンテーション、作業療法と評価１	
2	作業療法と評価２	
3	観察・面接	
4	観察・面接	
5	観察・面接	
6	意識とバイタルサイン	
7	意識とバイタルサイン	
8	意識とバイタルサイン	
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
標準作業療法学作業療法評価学第３版

【準備学習・時間外学習】
作業療法士にとって評価する技術はなくてはならないものです。よって習う内容も多く、日々の復習と内容の理解を怠らないようにしてください。理解した知識が実技につながっていくことを意識しながら学習することがポイントです。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

小試験の結果を100点満点として成績を評価する。
小テストの評価を30点、定期試験を70点として合計100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。